

『歌川広重展』



歌川広重
「東海道五拾三次之内 蒲原」

大判錦絵揃物の内
天保4年(1833)ころ
当館蔵(平成17年度新収蔵)

開館5周年を迎えた中山道広重美術館では、特別企画展「歌川広重展」を開催しています。

この美術館がこれまでに収集した作品の大部分に共通する特徴は、縦長構図であることです。縦長構図が見られるようになるのは、広重も晩年を迎えてからのことで、これには有名な「名所江戸百景」シリーズが含まれます。ではなぜ美術館がこうした作品を収集したかと言うと、縦長構図は全国の博物館や美術館を見渡しても、所蔵する館が非常に少なかったからです。つまり、浮世絵の美術館としても後発であり、「広重」の名前を冠した美術館としても4館目という状況の中で、より個性的な広重コレクションを形成したかったからなのです。その結果、美術館は広重の縦長構図作品においては全国一の品揃えとなりました。

さらに美術館では、世界有数のコレクションと賞される田中コレクションの「木曾海道六拾九次之内」と並べて展示することのできる質の高い、けれどもリーズナブルな「東海道五拾三次之内」(保永堂版:「お茶漬海苔」でおなじみ)が欲しいと思いつけてきました。これも昨年かない、今回はこの「東海道」シリーズのお披露目展でもあります。

雪深い峠道に行く旅人が描かれる「東海道五拾三次之内 蒲原」(図参照)。どこかで必ず目にしたことのある絵ではないでしょうか。こうした作品を含め、全300点余り。この「蒲原」の図は14日(日)で展示を終了します。まだご覧になっていない方は、お早めに美術館へお越しください。

4月13日(木)～7月23日(日)

毎週月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日(土日祝日を除く)休館

4月25日(火)～5月7日(日)までは休まず開催

会期終了後、7月24日(月)～26日(水)まで展示替え休館します。

編集後記

はじめまして。4月から広報えなの作成に携わることとなりました。合併以前に明智町で広報紙の作成を1年半ほど経験させていただきましたが、恵那の広報編集には初めから作業の違いに驚き、いまだアタフタしながら業務に取り組んでいます。「広報」と聞きますと字のごとく「広く報じる」書物でなければいけないと以前から感じていますが、合併して新恵那市となり、はや1年半が過ぎます。広報の取材範囲も広がり、市政の周知、地域の声や現状をお伝えすることの大切さと大変さを日々実感しています。行政と市民が一緒につくる「まち」を目指し、広報も互いの架け橋のための一つの手段としてご利用いただければうれしく思います。ひ

次号は5月15日号

発行日は5月15日(月)です

広報えな No.35

2006年(平成18年)5月1日発行

発行 恵那市役所/編集 まちづくり推進課
岐阜県恵那市長島町正家1丁目1番地1

☎26-2111 / ☎25-6150

<http://www.city.ena.gifu.jp/>

✉info@city.ena.gifu.jp

『広報えな』5月1日号、1部当たりの印刷経費は約13.9円(税込み)です。

2100

『広報えな』は古紙100%の再生紙を使用しています。

PRINTED WITH
SOY INK

この印刷物は石油系インキではなく、地球に優しい大豆油を使用したインキで印刷されています。